



H.Suga

THE ASAHI HAI ST.LITE KINEN

第79回 朝日杯セントライト記念 (GII)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 54,000,000円 22,000,000円 14,000,000円 8,100,000円 5,400,000円
付加賞 840,000円 240,000円 120,000円



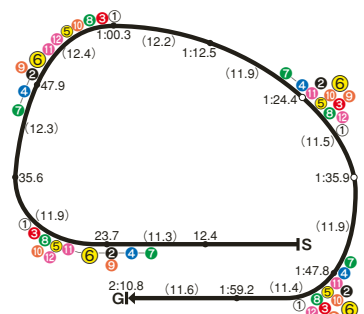
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.9.15 中山 曇・良 芝2200m (国際 指定)

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	ミュージアムマイル	牡	3	57	戸崎圭太	2:10.8	8-8-6-6	34.4	500(+4)	2.6①	高柳太輔(栗東)	115
2	⑤	ヤマニンブークリエ	牡	3	57	横山典弘	3/4	5-5-6-6	34.4	516(±0)	25.4③	松永幹夫(栗東)	113
3	⑧	レッドバンデ	牡	3	57	佐々木大輔	クビ	3-3-3-3	34.7	486(+2)	4.4②	大竹正博(美浦)	113
4	②	ビクテムッシュ	牡	3	57	C.ルメール	1/2	9-9-9-9	34.4	458(±0)	8.2⑤	鹿戸雄一(美浦)	112
5	③	サクラファレル	牡	3	57	藤岡佑介	2 1/2	2-2-3-3	35.2	514(+4)	10.0⑥	堀 宣行(美浦)	
6	⑦	ビーオンザカパー	牡	3	57	横山武史	クビ	12-12-12-12	34.0	472(±0)	24.1⑦	伊藤圭三(美浦)	
7	④	リギーロ	牡	3	57	三浦皇成	1/2	11-11-11-11	34.7	476(+4)	89.3⑧	栗田 徹(美浦)	
8	⑫	フィーリス	牡	3	57	丹内祐次	1/2	5-6-2-2	35.6	502(-2)	119.4⑩	手塚貴久(美浦)	
9	⑩	ブルータス	牡	3	57	菅原明良	1/2	3-4-6-6	35.3	458(±0)	152.6⑫	高柳瑞樹(美浦)	
10	⑪	エーオーキング	牡	3	57	木幡巧也	1 1/2	7-7-9-9	35.3	450(-4)	129.9⑪	久保田貴士(美浦)	
11	①	ジーティーアダマン	牡	3	57	岩田望来	3/4	1-1-1-1	36.2	492(-4)	6.8④	上村洋行(栗東)	
12	⑨	ファイアंकランツ	牡	3	57	J.モレイラ	3	9-9-3-3	36.4	460(+4)	6.0③	堀 宣行(美浦)	

単勝⑥260円(1[△]△) 複勝⑥130円(1[△]△) ⑤420円(8[△]△) ⑧160円(2[△]△) 枠連⑤-⑤3,100円(12[△]△)
馬連⑤-⑥3,480円(15[△]△) ワイド⑤-⑥1,060円(15[△]△) ⑥-⑧300円(1[△]△) ⑤-⑧1,240円(18[△]△)
馬単⑥-⑤5,140円(19[△]△) 3連複⑤-⑥⑧3,280円(10[△]△) 3連単⑥-⑤⑧19,770円(66[△]△)
5重勝③⑧①④⑥238,220円(2,633票) 対象競走: 中山9R/阪神10R/中山10R/阪神11R/中山11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
35.6 - 47.9 - 1:00.3 46.4 - 34.9

アラカルト

- ・戸崎圭太騎手はセントライト記念初勝利。JRA重賞は本年6勝目、通算83勝目
- ・高柳太輔調教師はセントライト記念初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算8勝目
- ・リオンディーズ産駒はJRA重賞通算9勝目
- ・皐月賞馬の勝利は16年ディーマジェスティに続く通算6回目
- ・ファイアंकランツは枠内駐立不良(突進)。危険防止のため外枠から発走
- ・ミュージアムマイル、ヤマニンブークリエ、レッドバンデは菊花賞(GI)に優先出走できる

ミュージアムマイル Museum Mile

牡 黒鹿毛 2022.1.10生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・(有)サンデーレーシング 栗東・高柳大輔厩舎
馬名意味・ニューヨーク、マンハッタンの5番街にある通り

ハッピートレイルズIRE系 F4-4d

リオンディーズ 黒鹿毛 2013	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	シーザリオ 青毛 2002	スペシャルウィーク キロフプリミエールGB
ミュージアムヒル 鹿毛 2015	ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンスUSA アイリッシュダンス
	ロレットチャペル 鹿毛 2003	フレンチデピュティUSA サンタフェトレイル

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA M3×S4
Northern Dancer S5×M5

INTERVIEW

高見優也 厩舎長(ノーザンファーム空港)

秋も大きなタイトルを期待しています

春の実績からしても、ここは負けられないと思っていました。ゲートが苦手なのか、今回も後方からのレースとなりましたが、思ったよりもゆったりとした流れとなったので、直線では前を捉えられるかとも思いました。距離もこのあたりが合っているのでしょう。休み明けを使われてさらに調子を上げていきそうなので、春に続いて秋も大きなタイトルを期待しています。



R.Kaji

弥生賞ディープインパクト記念4着をひと叩きされて臨んだ皐月賞で、2歳王者クロワデュノールを鋭く差し切った本馬。ダービーは流れと位置取りが噛み合わなかった印象で6着に敗れたものの、秋の初戦でさすがの底力を示した。「ディープインパクト記念でもしっかりと仕上げたつもりでしたが、皐月賞ではそこから一段、上がってくれましたからね」と高柳大輔調教師。さらなる上積みも見込める秋の天皇賞では、イクイノックス以来の、3歳馬制覇に期待が膨らむ。

父リオンディーズ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央5戦2勝(朝日杯フューチュリティS_{G1}、弥生賞_{GII}2着)、最優秀2歳牡馬、17年から供用
〔代表産駒〕ミュージアムマイル(本馬)、デーオーロイヤル(天皇賞(春)_{G1}、阪神大賞典_{GII}、ダイヤモンドS_{GIII}2回)、リプラーザ(兵庫チャンピオンシップ_{JpnII})、インダストリア(ダービー卿チャレンジトロフィー_{GIII})、アナザーリリック(福島牝馬S_{GIII})、ジャスティンロック(京都2歳S_{GIII})、サンライズホーク(かきつばた記念_{JpnIII}、サマーチャンピオン_{JpnIII}、兵庫ゴールドトロフィー_{JpnIII})、ロジリオン(クロッカスS・L、洛陽S・L、京王杯2歳S_{GII}2着、NHKマイルC_{G1}3着)、ディオ(東風S・L、関屋記念_{GIII}2着)、オタルエバー(ラビストラズリS・L、ファルコンS_{GIII}3着、新潟2歳S_{GIII}3着)

母ミュージアムヒル

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央22戦3勝(江の島特別、フローラルワーク賞、スイートピーS_{Gp}2着)

ミュージアムマイル 本馬(22 牡父リオンディーズ)中央8戦4勝(皐月賞_{G1}、セントライト記念_{GII}、黄菊賞、朝日杯フューチュリティS_{G1}2着)獲得総賞金337,419,000円

フェスティバルヒル(23 牝父サートウルナリア)中央2戦1勝(新潟2歳S_{GIII}3着)⑧

(24 牡父ロードカナロア)

(25 牡父シュネルマイスターGER)

祖母ロレットチャペル

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央0勝。17年死亡

チャーチクワイア(09 牝父ネオユニヴァース)中央4勝(日野特別、春葉賞)、ベッレグリーニ ⑧(セントポーリア賞)、マイユニバース ⑧(九十九里特別、あずさ賞)の母

カレンパッドボーイ(10 牝父ディーブインパクト)中央3勝(春振山特別、渥美特別)、障害1勝

アルター(12 騾父ネオユニヴァース)中央5勝(御堂筋S、芦ノ湖特別、江坂特別)

ミュージアムヒル(15 前出)

曾祖母サンタフェトレイル

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央5勝(福島テレビ杯、長万部特別、若潮賞)、05年死亡、キングストイレ(セントライト記念_{GII}、京成杯オクタムH_{GIII})の母

「貴族の違い」でライバルたちを一蹴

ここで重賞初制覇を果たしたアーバシックスが、勢いに乗って最後の一冠も制した昨年に対し、今年のセントライト記念は秋の天皇賞へ進む予定が組まれている一冠目の覇者ミュージアムマイルが断然の主役と目された。青葉賞で4着に追い込み、続く1勝クラス特別を好時計で圧勝したレッドバンド東京スポーツ杯2歳S4着、青葉賞2着の実績を持つファイアングランツがこれに次ぐ支持を集めたものの、皐月賞馬は「貴族の違い」を見せ付けてライバルたちを一蹴。古馬の一線級に挑む大目標に向けて弾みをつけた。ゲート内で暴れたファイアングランツが外枠発走となり、波乱含みの幕開

けとなったレースは、3月のすみれSを好時計で逃げ切ったジューニアダマンが先導。逃げの戦法で3連勝中の新星サクラファレルは2番手に控え、レッドバンドは3番手のインに腰を落ち着ける。平均的なラップが刻まれていくなか、1コーナーを後方3番手で回ったファイアングランツは奥深い向正面から動き、前に迫っていた。ダッシュがつかず、中国馬群の後方につけたミュージアムマイルの戸崎圭太騎手はこれをやり過ぎし、ひと呼吸置いてから進出を開始。4コーナーではもう、前を射程に収めていた。馬群の大半を回って追い上げる形となりながらも、十分な余力を残していた馬は、直線に向いて仕掛けられると力強い末脚を発揮。内々を捌いて抜け出したヤマニンブクリエをかわしてゴールを駆け抜けた。

弥生賞ディープインパクト記念4着をひと叩きされて臨んだ皐月賞で、2歳王者クロワデュノールを鋭く差し切った本馬。ダービーは流れと位置取りが噛み合わなかった印象で6着に敗れたものの、秋の初戦でさすがの底力を示した。「ディープインパクト記念でもしっかりと仕上げたつもりでしたが、皐月賞ではそこから一段、上がってくれましたからね」と高柳大輔調教師。さらなる上積みも見込める秋の天皇賞では、イクイノックス以来の、3歳馬制覇に期待が膨らむ。